

取扱説明書

簡易取り付け型

保管用



LEDシーリング

(天井付専用)

ご使用になれる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れの仕方などご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

仕様

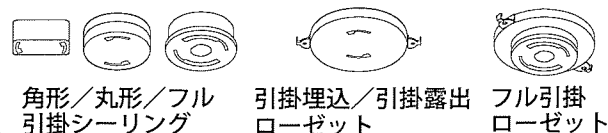
品名	光源色・色温度	適合ランプまたは光源ユニット	定格電圧	周波数	消費電力	調光
LD-2942	昼白色相当 (5000K) 電球色相当 (2700K)	No.251C (LDF7N-H-GX53/90) 7.3W×4灯 No.251D (LDF7L-H-GX53/90) 7.3W×4灯	100V (±6%)	50/60Hz	29.2W	非調光

この取扱説明書のマークについて

- ⚠ **警告** 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- ⚠ **注意** 説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
- ❗ このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
- 🚫 このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

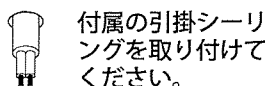
取り付け・取り扱い上の注意

すぐ取り付けられます

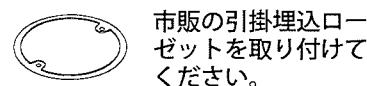


配線器具の取付工事が必要です

配線だけの場合



アウトレットボックスの場合



警告

- ❗ 破損したりガタついている配線器具には取り付けないでください。
配線器具を取り替えてから器具を取り付けてください。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。

破損しているもの ガタつくもの



- ❗ 樹脂製ボックスカバーには取り付けないでください。
★器具の落下事故の原因となります。

- ❗ 付属の引掛けシーリングボディーの取り付けや配線器具の交換は、有資格者による工事が必要です。
電気店または工事店に依頼してください。★一般の方の工事は法律で禁止されています。

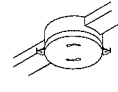
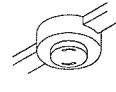
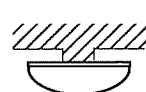
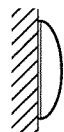
- ❗ LED光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。

- ❗ 十分にご注意ください。

- ❗ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

- ❗ 次のような場所には取り付けないでください。

★器具の落下事故によるけがの原因となります。



ケースウェイにセットされている配線器具

- ❗ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

注意

- ❗ 器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8~10年後には外観に異常が無くても内部劣化が進んでおります。
点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。(JIS C8105-1 解説による)
周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

- ❗ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。

- ❗ この器具は周囲温度5℃~35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

- ❗ 温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。

- ❗ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

- ❗ ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

- ❗ 調光器(ライトコントロール)との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。

※ 同品名商品のLED光源でも色・明るさに多少のバラつきがある場合があります。予めご了承下さい。

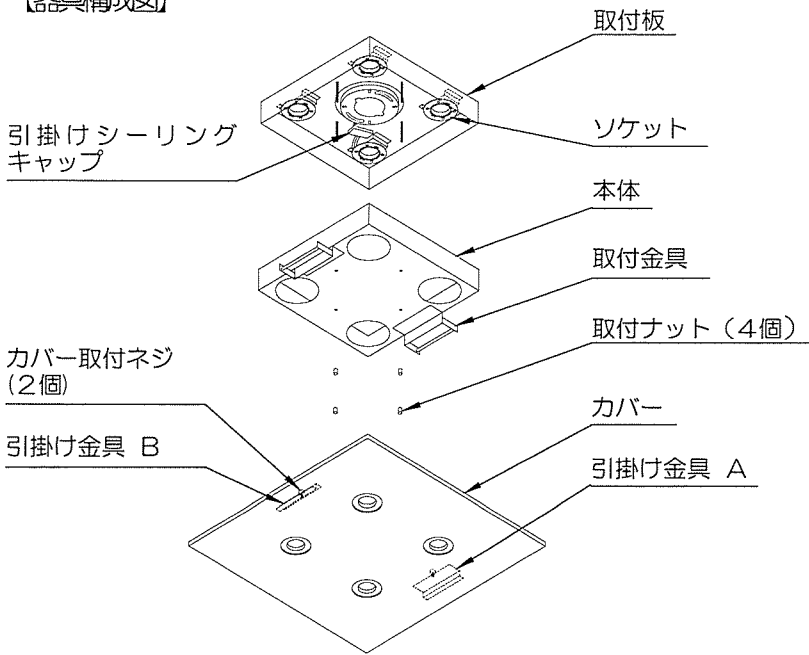
※ 照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承下さい。

※ 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予めご了承下さい。

各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

【器具構成図】



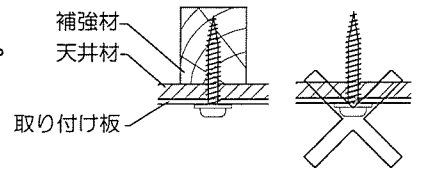
【付属品】

- 引掛けシーリングボディ・・・1個
- 取り付けは、工事店または電気店にご依頼ください。
- ローゼット用ネジ・・・2本
- 木ネジ (引掛けシーリングボディ用)・・・2本
- 座付き木ネジ (取り付け金具用)・・・2本
- 取り扱い説明書・・・1枚 (本書)
- 保証とアフターサービスについて・・・1枚

取り付け場所の確認

警告 取り付け金具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

注意 建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。



取り付け方

注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

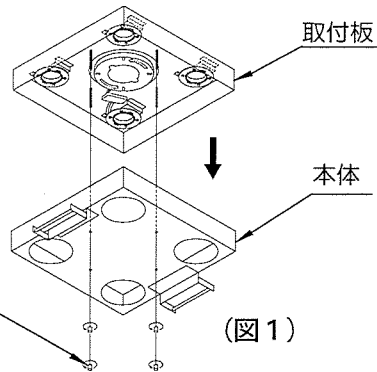
警告

器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

●取り付ける前に

取付ナット (4個) をはずし
本体をはずします。

取付ナット
(4個)

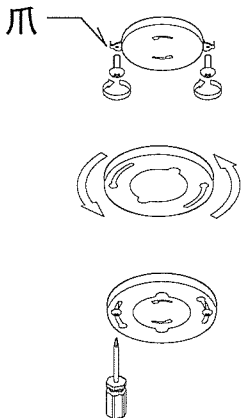


(図1)

1. 取付板のセット

A: 引掛ローゼットが天井に付いている場合

引掛ローゼットの爪を利用して取り付けます。

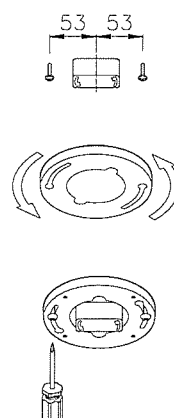


- ①引掛ローゼットの爪に、付属のローゼット用ネジを落ちない程度にねじ込みます。
- ②取付板のダルマ穴にネジを通し、溝に沿って取り付け板を左に回転させます。
- ③ネジが溝の中央付近に来たらネジをしっかり締めて固定します。

※部屋に対して45° 振りで取り付けたい場合は4ヶ所の小判孔を利用してください。

B: 引掛シーリングが天井についでいる場合

付属の座付き木ネジを利用して取り付けます。

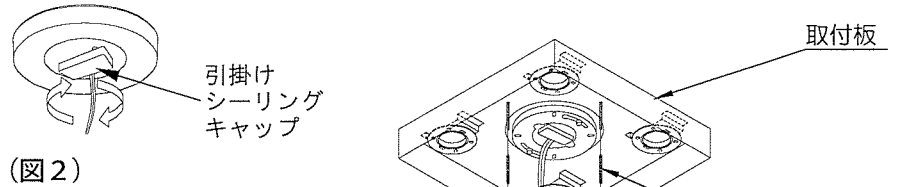


- ①引掛シーリングを中心に、左右53mmの位置に木ネジを3分の1ほどねじ込みます。
- ②取付板のダルマ穴にネジを通し、溝に沿って取り付け板を左に回転させます。
- ③ネジが溝の中央付近に来たらネジをしっかり締めて固定します。

※部屋に対して45° 振りで取り付けたい場合は4ヶ所の小判孔を利用してください。

2. 電源の接続 (図2)

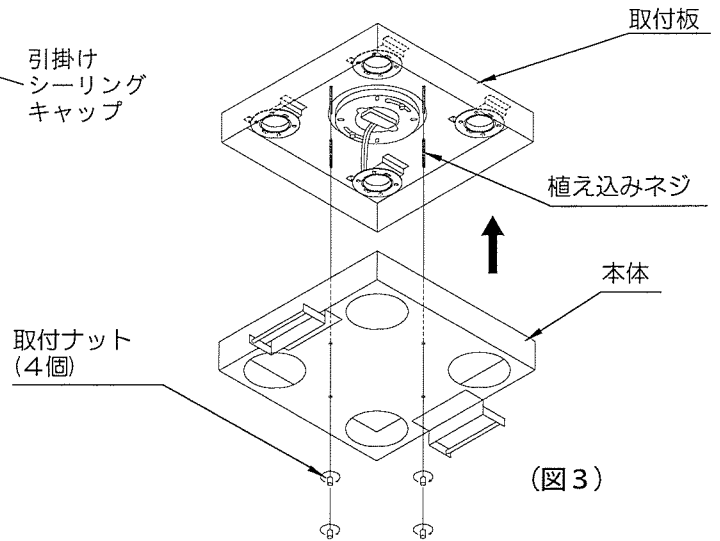
引掛けシーリングキャップを引掛けローゼット、または、引掛けシーリングボディに差し込んで、時計方向に止まるまで回転させます。



(図2)

3. 本体のセット (図3)

取付板の植え込みネジを本体の穴に通し取付ナット (4個) で本体を取付板に固定します。



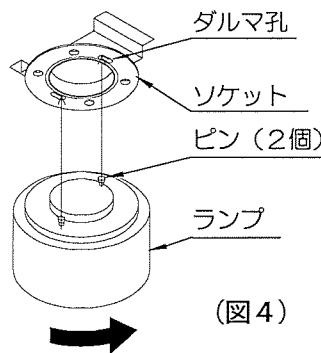
(図3)

4. ランプ (別売) をセットします。 (図4)

ランプのピンをソケットのダルマ孔に合わせ入れ時計方向に止まるまで回します。

⚠ 注意


- ランプは乱暴に取り扱わないでください。
- ★電球割れなどの事故の原因となります。
- ランプがソケットに確実に取りついたことを確認してください。
- ★取付に不備があると、器具落下による「ケガ」や火災、感電事故の原因となることがあります。



(図4)

5. カバーのセット

※引掛け金具の「A」「B」を確認してから取り付けてください。

 マークがあるほうが引掛け金具「B」です。

①引掛け金具Aを取付金具に引掛けます。

(図5)

②カバーを下げた状態で引掛け金具A側のカバー取付ネジを締め込み固定します。

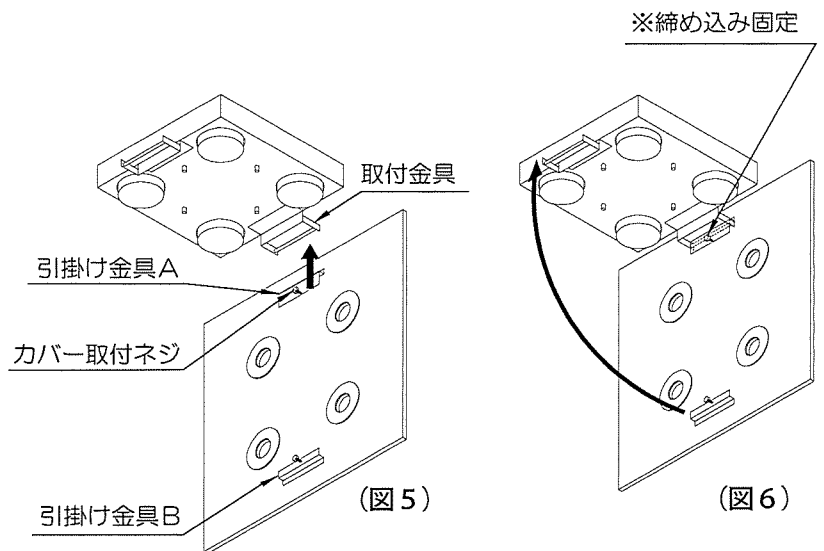
(図6)

③カバーを持ち上げ (図6) 引掛け金具Bと取付金具の位置が合ったら、引掛け金具A側にカバーをずらし、引掛け金具Bを取付金具に引掛けます。 (図7)

④引掛け金具B側のカバー取付ネジを締め込みカバーを固定します。 (図7)

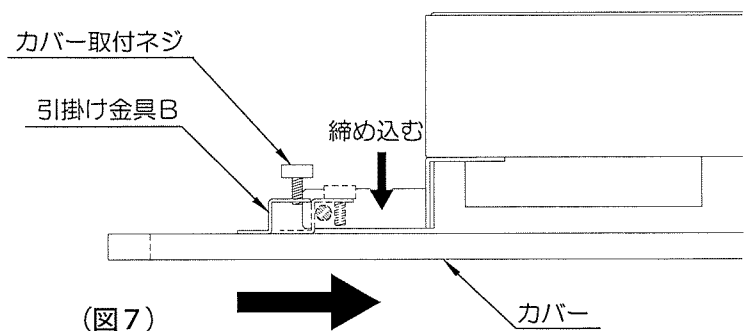
⚠ 注意

- カバーを硬いものなどにぶつけないようにしてください。
- ★カバーの変形、破損などの原因となります。



(図5)

(図6)



(図7)

スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

お手入れについて

△ 注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。


△ 注意

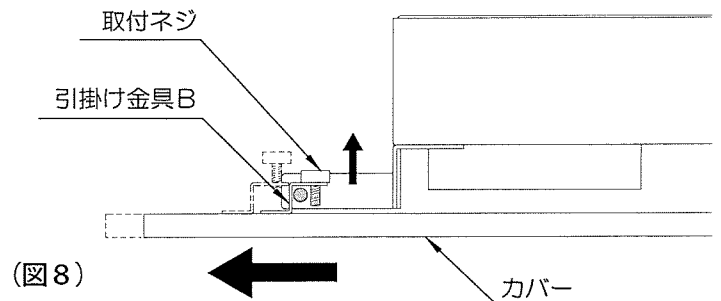
- ❗ ●ランプの交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。
- 🚫 ●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。★感電事故の原因となります。
- 🚫 ●ランプは乱暴に扱わないでください。★ランプが割れてけがをする恐れがあります。
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常加熱による火災の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換

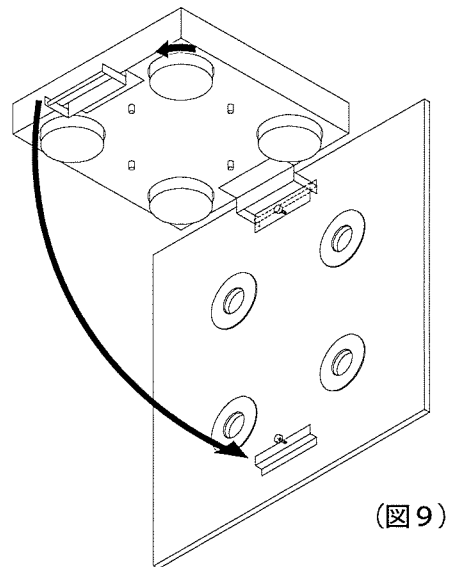
■ランプ使用上のご注意

- LED照明器具の光源寿命(※)は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
※光源寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

1. スイッチを切ります。
2. カバーをはずします。
①引掛け金具B ( マークがある側)の
取付ネジを上へゆるめます。(図8)
②引掛け金具Bの方向へカバーをずらします。
(図8)
③カバーを静かにおろします。(図9)



3. ランプを交換します。
①古いランプを時計と反対方向へ回しはずします。(図9)
②新しいランプをセットします。
※『取り付け方』の「4.」の項をご参照ください。
4. カバーを取り付けます。
※『取り付け方』の「5.」の項をご参照ください。

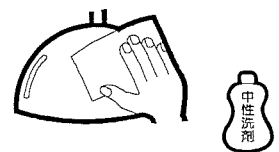


△ 注意

- ランプは乱暴に取り扱わないでください。
★ランプ割れなどの事故の原因となります。
- ランプがソケットに確実に取りついたことを確認してください。
★取付に不備があると、器具落下による「ケガ」や火災、感電事故の原因となることがあります。
- カバーを硬いものなどにぶつけないようにしてください。
★カバーの変形、破損などの原因となります。

◆お手入れのしかた

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の型番**(器具本体のラベルでご確認ください)、**故障の状況**、**ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。